



ひろしま シルバーだより

第 105 号

発 行

公益社団法人
広島市シルバー人材センター
広島市中区西白島町 23-9
☎082(223)1156
<http://silver.hiroshima.jp/>
会員数(平成 28 年 7 月 31 日現在)

男 2,430 人
女 1,437 人
計 3,867 人



平成 28 年度通常総会は、6 月 15 日(水)西区民文化センターにおいて開催されました。多くの会員の皆様のご参加をいただき大変ありがとうございました。なお、開催にあたっては、来賓として広島市長(代理:竹内功副市長)、永田雅紀市議会議員長にご出席をいただきました。

I 会員表彰 (敬称略 順不同)

- ・地域世話人として 10 年間にわたりご尽力いただいた方の表彰
奥田 勝海、木下 紘子、迫田 睦夫、末盛 富士子、日高 寛十郎

- ・任期満了された会員理事・監事

秋本 隆、熊地 妃和子、小林 莞爾、平村 松夫、福永 勝、水谷 敏子、宮本 勝江

- ・〈安全標語最優秀賞〉 新田 明美
- ・〈ヒヤリ・ハット体験記最優秀賞〉 浅見 秀喜

「何ごとも 無理せず あせらず 一歩ずつ」 「注!! 交差点内の右折」



II 総 会

昨年度と今年度の事業計画、決算・予算、新役員の選任等の報告・決議が行われました。

平成 27 年度の事業実績として、当センターでの契約金額については 15 億 1,673 万円と前年度比較でプラスとなったことや会員数がここ数年減少傾向となっていること等が報告されました。

平成 28 年度事業計画として次の報告がされました。

◎事業実施に伴う基本方針と目的については、今年度も継続することが確認されました。

◎人材育成や就業のための研修計画(新人研修、剪定、刈払機、介護、家事支援など 12 種類の研修の実施)

◎会員増加の広報活動、安全・適正就業の推進、就業分野の開拓・拡大、相談・情報提供、ボランティア活動。

総会後の理事会においては滝澤宏二理事が新理事長に選出されました。

滝澤理事長 就任の挨拶



先ほど、理事長に選任されました滝澤でございます。

理事長就任にあたりまして、皆様方に一言ごあいさつを申し上げます。

まずは、この度退任されました原田前理事長におかれましては、当センターの発展のために、ご尽力をいただきましたことに、心からの感謝とお礼を申し上げます。

今後とも、当センターの運営全般にわたりまして、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当センターは、会員の皆様方のご協力に支えられ、会員数、事業実績など、全国有数のセンターとなっております。

今後におきましても、会員の皆様方と役員、事務局が一体となって、当センターの更なる発展・拡充に努めて参りたいと考えております。

現在の経済情勢は、緩やかな回復基調が続いているという声もございますが、まだまだ非常に厳しく、当センターにおきましても、なんとか、わずかながらでも前年を超えることができたという状況です。

また、会員数については、退職者再雇用制度等による高齢者の雇用が進んでいることを反映し、減少が続いているという課題がございます。

こうしたなか、私は、もとより微力ではございますが、皆様方の信頼と期待に応えるべく、これらの諸課題解決に積極的に取り組んでまいりますので、理事会役員の皆様を始め、事務局の皆さん、そして何よりも会員の皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、当センターのますますの発展と会員の皆様方のご活躍、ご健勝、ご多幸を心からお祈りいたしまして、はなはだ簡単ではございますが、私の理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

閑会の挨拶 原田理事長（前理事長）

（事故報告）

最初に、死亡事故の報告をさせていただきます。

昨年 9 月初旬に、植木の剪定業務をされていた会員の方が、作業中に脚立から転落し、お亡くなりになるという誠に痛ましい事故がありました。

心からご冥福をお祈りいたします。

当センターでは、これまでも就業途上の交通事故や持病が原因で作業中にお亡くなりになるケース等はございましたが、就業そのものに起因しての死亡事故というのは、ほとんど例がございませんでした。

元気に働いていた会員の方がお亡くなりになったということで、本当に残念に思っています。

「安全はすべてに優先する。」を合言葉に、会員及び役職員が一丸となって、一層の安全対策に取り組み、安全就業の徹底に今後とも努めてまいります。

（事業実績）

当センターの平成 27 年度の実績につきましては、後ほど事務局から詳細についての説明がありますが、契約金額は、平成 26 年度の「約 15 億 700 万円」に対し、平成 27 年度は「約 15 億 1,700 万円」と「約 1 千万円」の増加となり、3 年ぶりに前年度を上回りました。

対前年度比 0.7%と、わずかではありますが、民間企業からの受注が増加し、前年度を上回ることができたものです。このまま、緩やかではあっても、着実に契約金額を増やしていきたいと思っております。



（会員数）

しかしながら、もう一つの課題であります、会員数については、今年も減少しています。

会員数の減少は、全国的な問題でもあります。当センターにおいては、平成 16 年度（5,727 人）をピークに毎年減り続け、平成 27 年度末では、3,811 人となりました。（△1,916 人 33%）

会員数については、退職者再雇用制度と、現在の人手不足の状況等から、高齢者の雇用が進んでおり、会員の増加には至っておりません。

そのため、会員の減少とともに、会員の平均年齢も年々上昇し、仕事の問い合わせがあっても、その地域に対応できる会員の方がおらず、就業に結びつかないケースが多々あります。

入会者に入会の動機を確認してみますと、友人、知人、会員等から勧められたという、いわゆる口コミによる割合が最も多いことから、「会員一人ひとりが広告塔」の合言葉のもと、皆様にも一人でも多くの方を勧誘していただきますようお願いいたします。



（シルバーの日）

当センターのPRについて申し上げますと、「シルバーの日」に行いましたボランティア活動があげられます。

皆さん、ご承知のように 10 月の第 3 土曜日は、「シルバーの日」として全国的に広報活動、ボランティア活動を展開しています。

当センターも、毎年実施しており、昨年は総勢 131 名の会員の方に参加いただきました。

参加いただいた会員の皆様に、この場をお借りしてお礼を申し上げますとともに、本年度についても是非ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

(普及啓発)

その他、事業の普及啓発として、会員募集ポスターを市の関係施設に掲示依頼し、バス・電車・アストラムラインには車内広告を行っています。

また、3 月には、当センター本部の建物の国道側に、1 人でも多くの市民の目に留まるよう、「モットーは生涯現役」という横幅 10m の看板を設置しました。

これらの施策を通して、いくらかでも会員が増加することを期待しています。



原田理事長退任の挨拶（要旨）



わずか1年間ではありましたが、役員の皆様をはじめ、会員の皆様方のご支援・ご協力をいただき、大過なく職責を果たすことができました。

在任中は、受注の拡大と会員の増加の2点を、常に念頭において取り組んでまいりました。

契約金額については、3年ぶりに前年度を上回ることができましたが、会員数は、引き続き前年度を下回ってしまいました。

協会けんぽへ会員募集PRの協力依頼や大型看板の設置など、色々と会員の増加策を行いました。今後、様々な対応策により、少しずつでもその成果が現れてくればと期待しています。

最後にあたりセンターのますますの発展と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

■ 第19期役員名簿（☆：新任理事・監事）

役職名	氏 名			役職名	氏 名		
理事長	☆	滝澤 宏二	広島市シルバー人材センター理事	理 事	☆	日高 寛十郎	西区地域世話人
常務理事	☆	保田 卓己	広島市シルバー人材センター事務局長	〃	☆	横山 静子	安佐南区地域世話人
理 事		伊木 剛二	広島商工会議所会員部長	〃	☆	大畑 正弘	安佐北区地域世話人
〃		中山 幸子	広島市地域女性団体連絡協議会常任理事	〃		奥田 勝海	安芸区地域世話人
〃		児玉 吾郎	広島市老人クラブ連合会会長	〃	☆	高口 武美	佐伯区地域世話人
〃		大原 裕二	連合広島広島地域協議会事務局長	〃		吉澤 縺子	福祉家事援助
〃		柄脇 常雄	学識経験者	〃	☆	中野 正彦	施設管理
〃		綿谷 嘉朗	広島市シルバー人材センター会員互助会会長	〃	☆	采 三十志	剪定
〃		大谷 諭	中区地域世話人	〃	☆	中井 睦夫	除草
〃		佐伯 憲子	東区地域世話人	監 事	☆	藤波 俊彦	東区
〃		増田 保	南区地域世話人	〃		青山 昌市	安佐北区

人事異動

5 月 3 1 日付け退職

業務第一係
事務推進員

相本 敏美



会員がセンターからのお知らせや就業募集情報などをパソコンやスマートフォンから閲覧することができるサービスです。

利用をご希望の方は、事務局へお申込み下さい。
事務局(本部):223-1156

シルバーふれあい農園

会員のボランティアによる農園育成事業を行っています。

会員のボランティア意識を醸成し、農園近隣住民とともに「地域に密着したセンター」として、平成 24 年度から「シルバー農園育成事業」として始めました。（安芸区中野小学校そば）
ふれあい農園では、中野小学校の児童（2 年

生）の教育学習の一環としてサツマイモの植付けを実施。児童は植付けから収穫までを行っています。

シルバーの会員は児童をサポートする形で事業を行っています。

農作業をお手伝いしていただく会員を募集しています。!!



5 月 12 日（木）植え付けをしました。

7 月 14 日（木）つる返しをしました。

お知らせ

ご協力お願いします

センターでは今年度も地域世話人に「**会員動向調査**」をお願いします。



これは皆さんの現況を把握させていただき、一人でも多くの方に就業の機会を提供することが主な目的です。

つきましては、10 月から、地域世話人が皆さんのご自宅へ訪問したり、電話をおかけして、簡単なお質問をさせていただきます。支障が無い範囲で結構ですので、ご協力をよろしくお願いします。

福祉家事援助初級研修会のお知らせ

福祉家事援助の仕事（家事援助、介護、ベビーシッター等）を希望されている会員さんを対象に右記のとおり研修会を行います。

まだ受けていない方は、必ず一度受講して下さい。

※この研修を受講されないと、福祉家事援助の仕事の紹介は出来ません。

※5 年以上前に受講された方はルールが変わっていますので、できるだけもう一度受講して下さい。

※すでに就業中の方で、まだ受講していない方は必ず一度受講して下さい。

◆お問合せ先 電話 082（223）1156

本部 業務第一係 担当：井澤

場 所	シルバー人材センター 本部 4 階研修室
時 間	9 時 30 分～12 時
開催日	下記のとおり
内 容	①就業にあたっての説明 ②個別面談
持参品	筆記用具・会員証

開催日（参加申し込みは不要）

平成 28 年 10 月 19 日（水）

11 月 16 日（水）

12 月 21 日（水）

襖・障子張り

シルバー人材センター本部 2 階作業室でお客様からお預かりした、襖や障子の張り替えをしておられる作業場にお伺いをしました。

リーダーの三上 昌司さんは、シルバーに入会してから「高齢者人材育成事業(厚生労働省 広島労働局委託事業)」に参加して技術を修得され、この仕事に携わって 7 年のベテランさん!! 注文を受けてから、お客様のお宅に見本を持って、お話を伺い、商品を預かり、作業が終わったらお宅へ配達と、お客様との触れ合いを大事にしておられます。同様に一緒に仕事をしておられる、宮崎 順弘さん、吉田 政司さんもこの仕事をしていてよかったと、微笑んでおられました。

一番うれしいのは仕上り品を見て、お客様



作業風景

から「**ありがとう!! とってもきれいですね**」と喜ばれた時に幸せを感じるそうです。

このお仕事をしていて良かったこと

★共同作業でお互いにいいところを取り入れて技術の向上が図れる。

★多くの人との出会いと会員さんとの交流

近況について

★生活の多様化で住宅様式が変わり、仕事が減少しつつある。

皆さんに聞きました

★これからも元気で、体力が続く限り、いろいろな人と交流して、健康で楽しく、多くの友を作り人生を謳歌したい。

この仕事で

頑張っています



技術・技能の向上に取り組みましょう!

受講料無料

平成 28 年度高齢者人材育成事業(厚生労働省広島労働局委託事業)

受講対象者 **シルバー人材センターでの就業を希望する 60 歳以上の方**

講習名 (希望職種)	開催日時	定員	開催場所	申込締切日
調理補助 (調理補助)	10 月 12 日～19 日 (5 日間) 9 時 30 分～15 時 30 分	20 名	広島市中央公民館 (中区西白島)	10 月 4 日
安全運転 (自動車運転)	10 月 27 日、28 日 (いずれか 1 日) 9 時 40 分～12 時 30 分	10 名	早稲田自動車学園 (西区井口)	10 月 20 日
刈払機取扱 (機械刈除草)	11 月 7 日 9 時～16 時 5 分	20 名	コベルコ教習所 (安佐南区大塚)	10 月 24 日

※ 自動車運転業務は、上記講習での技能判定を就業提供するときの判断材料とさせていただきます。



申込・問合せ：広島県シルバー人材センター連合会 Tel (082) 502-0468
広島市シルバー人材センター本部 Tel (082) 223-1156 (担当：大本)

安全・適正就業部会報告

「安全・適正就業強化月間」の実施報告

平成 28 年 7 月 1 日（金）～
平成 28 年 7 月 31 日（日）

1 横断幕の掲示



- ・全シ協 全国統一スローガン
【平成 26～28 年度安全・適正就業スローガン】
『見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験』



- ・広島市シルバー人材センター
安全標語最優秀作品 新田 明美 会員作
『何ごとにも 無理せず あせらず 一歩ずつ』

2 就業現場の巡回

7 月 5 日と 6 日の 2 日間、理事長及び安全・適正就業部会の委員等が就業現場を巡回し、「安全・適正就業強化月間」や熱中症の予防、健康管理などに関する注意事項の伝達など、安全就業を呼びかけました。皆さんは、真夏の暑い盛り、安全と健康に留意しながら就業されていました。



「大塚公民館」機械刈り除草業務

利用者の安全や作業効率に配慮して休館日に作業を行っています。小石などの飛散防止のための防護ネットの設置にも工夫して、安全に心がけておられました。



「広島市植物公園」栽培・展示補助業務

年間を通じて多くの利用者が訪れる植物公園では、広大な敷地内の様々な現場で皆さん、栽培や展示の補助業務に汗を流しておられました。



「太田川放水路河岸緑地」除草業務 多人数での広い現場はチームワークが大切です。緊急時の応急処置の対応も想定しながらの就業で、活気に満ちた現場でした。



「安芸区内の民有地」除草業務

狭い敷地での作業は特に危険が伴います。離れた場所で作業する会員にも気を配りながら、除草しておられました。



「自転車保管所」(保管・返却・売却業務) 広い敷地内での大量の自転車の管理にあたり、訪れる市民の方々への対応や整理整頓などに常に配慮しながら就業されていました。

3 熱中症対策の啓発

「熱中症対策取組強化期間」の横断幕を本部に掲出するとともに、熱中症対策チラシを総会で配付し、各事務所に掲出するなどして機会あるごとに注意喚起しました。

また、熱中症の予防のための飴を各事務所に置いて会員の皆さんに水分補給などを呼びかけたり、様々な現場に担当職員がおもむいて安全就業の推進に努めました。

熱中症対策取組強化期間



公益社団法人 広島市シルバー人材センター

熱中症予防のために

暑さを避ける

- 室内では・・・
 - ▶ 扇風機やエアコンで温度を調節
 - ▶ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
 - ▶ WBGT値*も参考に
- 外出時には・・・
 - ▶ 日傘や帽子の着用
 - ▶ 日陰の利用、ごまめな休憩
 - ▶ 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの蓄熱を避けるために

- ▶ 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ▶ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

*WBGT値：気温、湿度、輻射（放射）熱から算出される暑さの指数。運動や作業の程度に応じた暑さ指数が定められています。広島市のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、観測値と予想値が掲載されています。

ごまめに水分を補給する

- 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、ごまめに水分・塩分、経口補水液*などを補給する
- *水に食塩とブドウ糖を溶かしたものを指す。

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも起こる可能性があります。熱中症は、喉の乾きやめまい、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う、熱中症について正しい知識を身に付け、体調の変化に気づけるとともに、周囲にも気づき、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

- 熱中症の症状
 - めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
 - 顔面、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
 - 重症になると、
 - 返事がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症関連情報」をご覧ください。 厚生労働省 熱中症 検索

事故の発生状況について（各年度7月末現在）

	今年度	前年度	差
賠償事故	13 件	2 件	11 件
傷害事故	5 件	7 件	△2 件
計	18 件	9 件	9 件

傷害事故は前年度に比べて減っていますが、賠償事故の件数は激増しており、計 13 件のうちの 9 件が除草又は剪定作業です。

自分自身にも、いつどのような事故が起きるか知れません。とにかく念には念をいれて安全意識をもち、十分な余裕のもとに就業しましょう。

足元に注意を！

会員の傷害事故で一番多いのは、転倒です。

平成 28 年 7 月末までの 1 年間をみた場合、傷害事故全体のうちの約 4 割が転倒事故で、墜落・転落や交通事故がそれに続いています。

転倒防止のためには、どんなことに気をつければいいでしょうか。

それは特に、障害物です。

地面などの障害物にはいつも注意を払いましょう。使用器具などは正しい場所に置き、障害物はあらかじめ除去しておくことが大切です。

除去できないものならば、それを意識しておくことです。

また、段差があるかどうか、あるいは路面の凸凹などの確認も必要です。

足元の状況に十分注意を払っていれば、たいていの転倒事故は防げるはずですよ。

ところで、実際に転倒事故が起きた時を思い返してみると、ほかのことに気をとられて足元への注意がたついたりおそかになっていたということはありませんか。

それは例えば、手に抱えている荷物であったり、時間がないことによるあせりであったり、ほかの人との会話であったりと、とにかく様々なことが転倒事故の原因になります。肉体的なことばかりが原因ではありません。

安全標語の最優秀作品（左ページ参照）にあるように、「何ことも 無理せず あせらず 一歩ずつ」です。

言い古されたことばですが、「安全第一」です。

安全よりも大切なことはありません。



「10月15日(土)はシルバーの日」 ボランティアで地域貢献をしよう!!

参加ご希望の方は下記の電話にお申し出ください

● 基町河岸等(清掃)

そごう広島店前(ピラ配り)

集合場所:シルバー人材センター本部

10月15日(土) 9時~(約2時間)

受付:本部 082(223)1156

● 矢野中学校(剪定・除草)

集合場所:矢野中学校

安芸区矢野東二丁目 16-1

10月15日(土) 9時~(約2時間)

受付:安芸出張所 082(822)0300

● 亀崎中学校(剪定・除草)

集合場所:亀崎中学校

安佐北区亀崎四丁目1-1

10月15日(土) 7:30~(約3時間)

受付:北支部 082(815)5251

● JR 五日市駅前(清掃、ピラ配り)

集合場所:JR 五日市駅南口

10月15日(土) 10時~(約2時間)

受付:佐伯出張所 082(922)0520

10月第3土曜日はシルバーの日です。

申込締切り日は、10月7日(金)です。

グラウンドゴルフ大会 参加者募集

会員の親睦と健康維持を図るため、シルバー人材センターでは、恒例となりました、グラウンドゴルフ大会を下記の通り開催いたします。皆さんお誘い合わせの上ご参加ください。

日 時 平成 28 年 11 月 19 日 (土) 雨天中止

開 会 時 間 午前 9 : 00 ~ 12 : 00

場 所 新庄橋下河川敷

参 加 者 会員ならどなたでも参加 OK

申 し 込 み 電話 082-223-1156

申 込 締 切 11 月 16 日 (水) まで

※駐車場はあります。

バスでご来場の方は広島交通 (旧道経由)

新庄橋で下車してください。



減らそう犯罪

不審な電話にご注意ください!

広島県内のシルバー人材センター会員宅に、シルバー人材センター職員を名乗った「振り込め詐欺」と疑われる事案が発生しました。

不審な電話などがあった場合には、迷わず警察にご相談ください。

